

# 志継ぎで戦争法案止める

## 東京 亀戸事件92年追悼

日本共産青年同盟 (共青)の初代委員長・川合義虎(当時21)ら10人の青年が捕らえられ虐殺された亀戸事件の92周年追悼会が、追悼碑のある東京都江東区の赤門浄心寺で行われました。主催は同実行委員会。

事件は1923年9月1日の関東大震災後に起こりました。震災の混乱のなか、天皇制政府や軍は、朝鮮人が暴動を起こしている「社会主義者が井戸に

毒を入れた」などのデマを流しました。被災者の救援活動にあたった川合や南葛地域



亀戸事件92周年追悼会、献花する参加者(6日、東京都江東区)

(現在の東京都江東区・墨田区)の労働組合幹部の青年らは3日、亀戸警察に検挙され、4日夜から5日未明にかけて虐殺されました。罪のない朝鮮人や中国人も6千人以上が殺されました。追悼会では、10人の青年の写真の前に、戦争法案を許さないとの決意を込めた追悼の言葉がのべられました。あぜ上三和子日本共産党都議は「二度と権力による言論封殺を許さない。戦争法案を廃案に追い込むため全力をつくす」。共青の後身である日本民主青年同盟の小山農副委員長は「政治不信、あきらめを押し付けられていた青年が、現実政治を動かし始めている」とのべ「先輩たちの志を引き継ぎ、戦争法案を本当に止める」と決意を語りました。